

館内ドメインサーバ及び館内ファイルサーバの
機器等調達仕様書

令和8年5月15日
静岡県国民健康保険団体連合会

目次

1.はじめに	3
1.1.本書の位置づけ	3
1.2.基本的な考え方.....	3
2.要件定義について	4
2.1.信頼性要件	4
2.1.1.サーバ内蔵ハードディスクの構成.....	4
2.1.2. サーバのネットワークインターフェース二重化	4
2.1.3.バックアップについて.....	4
2.1.4.電源について.....	4
2.1.5.拡張性について.....	4
3.システム構成について	5
3.1.構成する機器および役割.....	5
4.ハードウェア構成について	6
4.1.ハードウェア仕様	6
4.1.1.館内ドメインサーバ.....	6
4.1.2.ファイルサーバ.....	7
4.1.3.バックアップ装置	8
4.1.4.バックアップ装置(外部保管用)	8
4.1.5.無停電電源装置	9
5.ソフトウェアについて	10
5.1.ソフトウェア仕様.....	10
5.1.1.OS 等.....	10
5.1.2.電源管理ソフトウェア	10
5.1.3.バックアップソフトウェア	10
5.1.4.ウイルス対策ソフトウェア	10
5.1.5.セキュリティ対策ソフトウェア	10
6.ファシリティ要件	11
6.1.サーバラック	11
6.1.1.電力.....	11
6.1.2.耐荷重.....	11
6.1.3.通信ケーブル.....	11
6.2.その他.....	11
6.2.1.セキュリティ	11
7.保守要件	12
7.1.ハードウェア	12
7.2.ソフトウェア	12
7.3.留意事項.....	12

8.設置要件	13
8.1.ハードウェアの納品および設置等.....	13
8.1.1.既設ラック等の確認	13
8.2.その他	13
9.導入要件	14
9.1.導入計画.....	14
9.2.導入作業.....	14
9.2.1.導入	14
9.2.2.設定	14
9.3.試験	14
9.4.成果物.....	15
9.5.その他	15
10.その他要件	16
10.1.導入時作業体制	16
10.2.作業上の注意事項.....	16
10.3.情報の目的外使用の禁止及び守秘義務	16

1.はじめに

1.1.本書の位置づけ

- ◆ 本書では、本会業務系ネットワークにおける館内ドメインサーバ及び館内ファイルサーバの機器等調達仕様について定める。
- ◆ 本書に記載されている機器等は基本的にはスペック情報であり、メーカー・型番等を指定するものではない。但し、止むを得ず調達品を特定するものは品名と型番等を指定することとする。

1.2.基本的な考え方

- ◆ 現在稼働している館内ドメインサーバと館内ファイルサーバを機器更改する。
- ◆ 現行の館内ドメイン環境を新たに調達する館内ドメインサーバと館内ファイルサーバに移行すること。
- ◆ ドメイン環境はマルチドメイン構成とし、Active Directory をマルチマスタレプリケーションさせること。
- ◆ 現行の館内ファイルサーバにあるデータを新たに調達する館内ファイルサーバに移行するが、その作業は必要としない。
- ◆ 機器等調達入にあたり、事前に計画書等を提示すること。
- ◆ データ量の増加に応じた機器（ハードディスク・メモリ等）増設を可能とし、拡張性を高める。
- ◆ 5年以上の期間に亘り業務に支障なく稼働出来るスペックの機器・ソフトを調達する。
- ◆ 既存ラック(NEC 製 36U)にサーバ機器等を設置する。
- ◆ サーバとスイッチ間の LAN ケーブルを施設し、本会業務系のネットワークにサーバを接続すること。
- ◆ Windows サーバとして問題なく稼働させること。
- ◆ 本ドメイン環境では 250 台の Windows クライアントが稼働する。

2.要件定義について

2.1.信頼性要件

2.1.1.サーバ内蔵ハードディスクの構成

サーバ内蔵のハードディスク信頼性を確保するために、RAID（ Redundant Arrays of Inexpensive Disks ）を構成すること。

RAID レベルは 5、もしくは 6 を採用すること。

※ RAID5 の場合は、ホットスペアの HDD を 1 本以上確保すること。

2.1.2. サーバのネットワークインターフェース二重化

業務系ネットワークに接続させるサーバのネットワークインターフェースは、物理的に二重化し障害時にはフェイルオーバーする構成（ AFT ）とすること。

2.1.3.バックアップについて

夜間バックアップとして NAS およびポータブルハードディスクへバックアップを実施させること。

2.1.4.電源について

全ての機器電源装置は、冗長化すること。

停電が発生した際、機器の電源が遮断されない様に電力を供給し安全に停止させるため、サーバを無停電電源装置（ UPS ）に接続すること。

2.1.5.拡張性について

データ量やシステムの変更、他システムとの連携機能の追加等に応じて機器の拡張性（ハードディスク・メモリ等の増設）が行える柔軟な構成とすること。

3.システム構成について

3.1.構成する機器および役割

館内ドメインサーバ及び館内ファイルサーバのハードウェア構成を表 3.1-1 に示す。

表 3.1-1 館内ドメインサーバ及び館内ファイルサーバの定義

機器名称	用途
館内ドメインサーバ	本会業務系ネットワークの館内ドメインサーバとして 24 時間 365 日稼働させる 250 ユーザが利用する 台数：1 台
館内ファイルサーバ	本会業務系ネットワークの館内ファイルサーバとして 24 時間 365 日稼働させる 250 ユーザが利用する 台数：1 台
バックアップ装置	館内ファイルサーバのバックアップ装置として接続する。 NAS(1U のラックマウント用)であること 外部保管用のポータブルハードディスクを 3 台用意すること
無停電電源装置	サーバとバックアップ装置の電源供給の継続及び安全停止を実現すること

注) 調達機器は国内ブランドメーカー製品に限る。

4.ハードウェア構成について

4.1.ハードウェア仕様

サーバ機器等のハードウェア仕様を以下に示す。

4.1.1.館内ドメインサーバ

館内ドメインサーバの仕様を表 4.1.1-1 に示す。

表 4.1.1-1 館内ドメインサーバ

区分	仕様
タイプ	ラックマウント型
CPU	インテル®Xeon®プロセッサ 8C/2.10GHz/Bronze 3508U 以上×1 ※同等スペックの別モデルを許容する
メインメモリ	16GB 以上
RAID コントローラ	RAID5 もしくは RAID6 (構成するレベルに対応) キャッシュ 2GB 以上
内蔵ディスク	600GB (SAS) ×6 以上 (内蔵ディスクは 2.5 型とする) ハードウェア RAID 機能による RAID5 もしくは RAID6 構成であること ホットプラグに対応していること 1 本以上のホットスペアを確保すること C ドライブの容量 100GB 以上を確保すること
光学ドライブ装置	DVD-ROM が読み取り可能なこと(外付けでも可とする)
インターフェース	1000 Base-T 対応のインターフェースであること 物理 NIC2 枚 (4 ポート) 以上有し、AFT が実現可能なこと
OS 等	Microsoft Windows Server 2025 Standard
アプリケーション	電源管理ソフトウェア ウイルス対策ソフトウェア セキュリティ対策ソフトウェア (LanScope Cat MR エージェント)
その他	サーバスイッチユニットに適合するケーブルを用意すること 電源は冗長構成とすること セキュリティチップを搭載すること 再セットアップ媒体をサーバ本体に組み込み可能な場合は組み込むこと ネットワーク接続用に Cat6LAN ケーブル (10m) を 2 本以上調達すること

注)機能に関する詳細仕様を実現するために、不足するものはこれを追加し、全てが正常に稼働するようにハードウェア、ソフトウェア及び接続ケーブル等を揃えること。

4.1.2.ファイルサーバ

ファイルサーバの仕様を表 4.1.2-1 に示す。

表 4.1.2-1 館内ファイルサーバ

区分	仕様
タイプ	ラックマウント型
CPU	インテル®Xeon®プロセッサ8C/3.20GHz/Gold 5515+以上×1 ※同等スペックの別モデルを許容する
メインメモリ	32GB 以上
RAID コントローラ	RAID5 もしくは RAID6 (構成するレベルに対応) キャッシュ 2GB 以上
内蔵ディスク	1200GB (SAS) ×8 以上 (内蔵ディスクは 2.5 型とする) ハードウェア RAID 機能による RAID5 もしくは RAID6 構成であること ホットプラグに対応していること 1 本以上のホットスペアを確保すること C ドライブの容量 100GB 以上を確保すること
光学ドライブ装置	DVD-ROM が読み取り可能なこと(外付けでも可とする)
インターフェース	1000 Base-T 対応のインターフェースであること 物理 NIC2 枚 (4 ポート) 以上有し、AFT が実現可能なこと
OS 等	Microsoft Windows Server 2025 Standard
アプリケーション	電源管理ソフトウェア バックアップソフトウェア ウイルス対策ソフトウェア セキュリティ対策ソフトウェア (LanScope Cat MR エージェント)
その他	サーバスイッチユニットに適合するケーブルを用意すること 電源は冗長構成とすること セキュリティチップを搭載すること 再セットアップ媒体をサーバ本体に組み込み可能な場合は組み込むこと ネットワーク接続用に Cat6LAN ケーブル (10m) を 2 本以上調達すること

注)機能に関する詳細仕様を実現するために、不足するものはこれを追加し、全てが正常に稼働するようにハードウェア、ソフトウェア及び接続ケーブル等を揃えること。

4.1.3.バックアップ装置

バックアップ装置のハード仕様を表 4.1.3-1 に示す。

表 4.1.3-1 バックアップ装置

区分	仕様
タイプ	ラックマウント用 (1U)
装置本体	NAS ×1 台 搭載 OS : Windows または Linux CPU : Intel Atom X6211E 以上 メモリ : 8GB 以上 容量 : 4TB 以上 RAID5 構成とする
その他	19 インチラックマウント用の接続金具を添付すること ネットワークポート 1000BASE-T×1 以上 ネットワーク接続用の CAT6LAN ケーブル (2m) を 1 本添付すること

注)機能に関する詳細仕様を実現するために、不足するものはこれを追加し、全てが正常に稼働するようにハードウェア、ソフトウェア及び接続ケーブル等を揃えること。

4.1.4.バックアップ装置(外部保管用)

バックアップ装置(外部保管用)のハード仕様を表 4.1.4-1 に示す。

表 4.1.4-1 バックアップ装置(外部保管用)

区分	仕様
タイプ	外付けポータブルハードディスク
装置本体	外付けポータブルハードディスク ×3 台 SSD または HDD 2TB 以上 インターフェース : USB3.0 以上 MIL-STD-810H Method : 516.6 ProcedureIVに準拠していること HDD の寸法 (目安) : W80mm、D120mm、H22mm

4.1.5.無停電電源装置

無停電電源装置のハード仕様を表 4.1.5-1 に示す。

表 4.1.5-1 無停電電源装置

区分	仕様
タイプ	ラックマウント用(2U 以内)
本体装置	無停電電源装置 定格容量 \geq 導入機器が必要とする電源容量
その他	電源管理ソフトを利用し管理すること

注)機能に関する詳細仕様を実現するために、不足するものはこれを追加し、全てが正常に稼働するよ
うにハードウェア、ソフトウェア及び接続ケーブル等を揃えること。

5.ソフトウェアについて

5.1.ソフトウェア仕様

サーバ機器等のソフトウェア仕様を以下に示す。

※ 各インストールメディアは全て添付すること。

5.1.1.OS 等

館内ドメインサーバ、館内ファイルサーバに以下の OS を導入すること。

● Microsoft Windows Server 2025 Standard × 2

● Windows Server 2025 クライアント アクセス ライセンス (デバイス CAL) × 250

※CAL については、デバイスを使用してサーバにアクセスするユーザ数に関わらず、サーバにアクセスするデバイスの数に応じて CAL が必要となる為、業務系ネットワーク接続クライアント台数分とする。

5.1.2.電源管理ソフトウェア

電源管理機能として、以下の機能が実現可能な、本システムで採用される無停電電源装置と親和性の高いソフトウェアを調達し、館内ドメインサーバ、館内ファイルサーバに電源管理ソフトウェアを導入すること。

● 電源障害時に、自動シャットダウンが可能なソフトウェアであること。

5.1.3.バックアップソフトウェア

館内ファイルサーバに以下のバックアップソフトウェアを導入すること。

● Arcserve UDP 10.x Advanced Edition - Server (5 年間保守付き)

※ Windows Server 2025 に対応するバージョンを調達すること。

5.1.4.ウイルス対策ソフトウェア

館内ドメインサーバ、館内ファイルサーバに以下のウイルス対策ソフトウェアを導入すること。

● ApexOne ※本会から提供する為、調達不要

5.1.5.セキュリティ対策ソフトウェア

館内ドメインサーバ、館内ファイルサーバに以下のセキュリティ対策ソフトウェアを導入すること。

● LanScope Cat MR エージェント ※本会から提供する為、調達不要

6.ファシリティ要件

6.1.サーバラック

サーバラックに関して、今回は既設(NEC 製 36U)のものを使用することとする。

今回調達する全てのサーバ機器等が既設サーバラック内に設置出来ることを確認すること。

米国電子工業会(EIA)に準拠したものを使用(1U(ユニット)=44.45mm)導入機器、耐荷重、設置面積などを考慮し導入を行うこと。

サーバラックの設置条件を以下に示す。

6.1.1.電力

搭載する機器によっては、200Vを必要とするものがあり、設置時に電源工事を伴う場合は事前に100V/200Vの必要電源本数を報告すること。

また、無停電電源装置を調達する際、200Vへの対応有無およびコンセントの形状を確認すること。

搭載する機器毎に消費電力(VA/W)を求め、必要な電源容量を求めること。

搭載する機器は、無停電電源装置に接続して使用すること。

漏電対策として、アース付きコンセントを使用すること。

機器が冗長化されている場合、電源供給の冗長化を考慮し、各サーバは無停電電源装置を分けることとする。

電源工事については本会で実施。

6.1.2.耐荷重

サーバラックの設置に関しては、床の耐重量を考慮し搭載可能な最大搭載重量内であること。

床はフリーアクセス床で、耐重量は600kg/m²程度である。

6.1.3.通信ケーブル

機器間を接続するケーブルはカテゴリ6以上のLANケーブルを使用すること。

サーバからスイッチへLANケーブルの敷設を実施すること。

6.2.その他

6.2.1.セキュリティ

情報漏洩を考慮しセキュリティを高めるチップ(TPM等)が実装されていること。

7.保守要件

7.1.ハードウェア

サーバ機器において導入当初から5年間の保守料を含めることとする。

当日出張修理を可能とすること。

平日 9:00 ~ 17:00 の時間帯をカバー出来る保守サービスとする。

※ UPS、RAID コントローラ等のバッテリー交換については5年間の保守を適用すること。

7.2.ソフトウェア

サーバ機器のソフトウェアにおいて導入当初から5年間の保守料を含めることとする。

平日 9:00 ~ 17:00 の時間帯をカバー出来る保守サービスとする。

※ マイクロソフト株式会社製品、電源管理ソフトウェアの保守は適用外とする。

7.3.留意事項

納入したハードウェア・ソフトウェア等において、重大な問題や障害、切り分けが困難な事象が発生した場合、部品交換にとどまらず、必要な技術者を派遣し、速やかに原因調査および対策案を検討し報告すること。

必要に応じて現地作業を実施して、部品交換やファームアップ、適用手順書含むパッチ提供等の措置により障害対応および品質向上を図ること。

初期不良対応としてメーカーが定める期間内に動作確認を実施し、正常に稼働するか確認をとること。

全ての保守登録作業を実施すること。

8.設置要件

8.1.ハードウェアの納品および設置等

情報管理課の指定する場所に設置すること。

※ 設置する内容等については変わる可能性がある為、情報管理課と調整して作業を実施すること。

8.1.1.既設ラック等の確認

既設ラック等の設置状況を事前確認したい場合は、情報管理課と日程調整の上、下記の期間内に行うこと。

期間：令和8年5月18日（月）から 令和8年5月25日（月）

※ 確認可能時間帯：土日を除く平日 10:00 ～ 16:00 とする。

8.2.その他

ホスト名等を記載したラベルを、本体、電源ケーブル、LAN ケーブル等に貼ること。

本会へサーバ等を搬入した時の梱包材等は全て撤去および処分すること。

9.導入要件

9.1.導入計画

館内ドメインサーバ、館内ファイルサーバを導入するための導入実施計画書等を提出すること。
全ての移行作業について計画表を作成し提示すること。
システム本番切替作業の実施と、その手順書を作成すること。

9.2.導入作業

9.2.1.導入

館内ドメインサーバ、館内ファイルサーバに調達したミドルウェア(OS・アプリケーション等)をインストールすること。
※ウイルス対策ソフト・セキュリティ管理ソフトについてもインストールすること。

9.2.2.設定

現行館内ドメイン機能を新たに調達した館内ドメインサーバへ全てのドメイン機能を移行すること。
どのパソコンからドメインにログオンしても同じ設定を利用出来る様に ActiveDirectory 移動ユーザプロファイルの設定を実施し、ネットワーク負荷を考慮してフォルダリダイレクトの設定も併せて実施すること。
各個人のプロファイルサイズは制限すること。
現行館内ファイルサーバから新に調達した館内ファイルサーバへのデータ移行は作業範囲外とする。
電源管理ソフトウェアを使用し、電源障害時等の設定をすること。
館内ファイルサーバはバックアップソフトウェアを使用し、バックアップ環境を設定すること。
館内ドメインサーバは Windows 標準のバックアップ機能を使用すること。
ウイルス対策ソフトウェアを使用し、ウイルススキャン等の環境を設定すること。
※ 設定作業は変更される可能性があり、情報管理課と協議の上、実施すること。
※ 現行サーバの設定状況等の確認が必要な場合は 8.1.1 既設ラック等の確認期間内に行うこと。

9.3.試験

設定を実施した各ソフトウェア等の動作試験を実施すること。

- ・ドメインサーバ機能
- ・ファイルサーバ機能
- ・電源管理ソフトウェア
- ・バックアップソフトウェア
- ・ウイルス対策ソフトウェア

※ 試験の実施にあたり試験計画書を提示すること。

9.4.成果物

館内ドメインサーバ、館内ファイルサーバの導入に伴う作業において、作成した成果物を紙媒体と電子媒体で1部ずつ納品すること。

想定している成果物は以下の通り。

- ・導入計画書
- ・サーバ構築設計書
- ・システム導入手順書
- ・データ移行手順書
- ・試験計画書、試験結果報告書
- ・本番切替手順書
- ・復旧手順書（サーバ障害時におけるバックアップデータからの復旧手順書）

※ 上記に示す成果物は変更される可能性があり、情報管理課と協議の上、決定すること。

9.5.その他

館内ドメインサーバ、館内ファイルサーバの導入完了期日

令和8年 11月 30日（月）までに全ての作業を完了させること。

※ 上記に示す導入完了期日をやむを得ず変更せざるを得ない状況の場合は、情報管理課と協議の上、決定すること。

10.その他要件

10.1.導入時作業体制

導入時作業体制を表 10.1-1 に示す。

表 10.1-1 導入時作業体制

作業分類	最低確保人数
営業窓口（管理者）	1名
営業窓口（担当者）	1名
導入作業SE（管理者）	1名
導入作業SE（担当者）	2名

- ・ 作業分類に示す作業者が他の作業分類を兼任しないこと。
- ・ 特別な理由が無い限り上記人員体制で作業すること。
- ・ 特別な理由がある場合は、情報管理課と協議の上決定する。

10.2.作業上の注意事項

サーバ等の設置及び設定作業の実施にあたっては、作業の目的を達成すること以外の操作をしてはならない。

また、下記の点を特に留意するものとする。

【留意点】

- ・ 本会へサーバ等を搬入した時の梱包材等は全て撤去および処分すること。
- ・ 作業の際に本会のネットワークにログインする場合は、作業の目的物以外のサーバ等にアクセスしてはならない。
- ・ 作業の際にサーバ等にログインする場合は、サーバ内に保持された本会の情報の内、作業の目的以外の情報にアクセスしてはならない。
- ・ 作業の際に作業の目的以外のデータを持ち出し及びデータの複製をしてはならない。
- ・ その他、すべての作業について、情報セキュリティの観点を中心に配慮し、安全に実施されなければならない。
- ・ 作業について疑義が生じた場合は必ず本会へ事前に連絡すること。

10.3.情報の目的外使用の禁止及び守秘義務

導入作業の遂行にあたり知り得た情報を利用目的の達成に必要な範囲以外に使用してはならない。

また、導入作業の遂行にあたり知り得た秘密及び個人情報を必要な従事者以外に漏らしてはならない。

本件が完了した後も、また同様とする。

但し、法的手続き等開示が求められた情報に該当するものは、この限りでない。